



神戸大学附属図書館要覧

Kobe University Library

2009

国立大学法人神戸大学 附属図書館

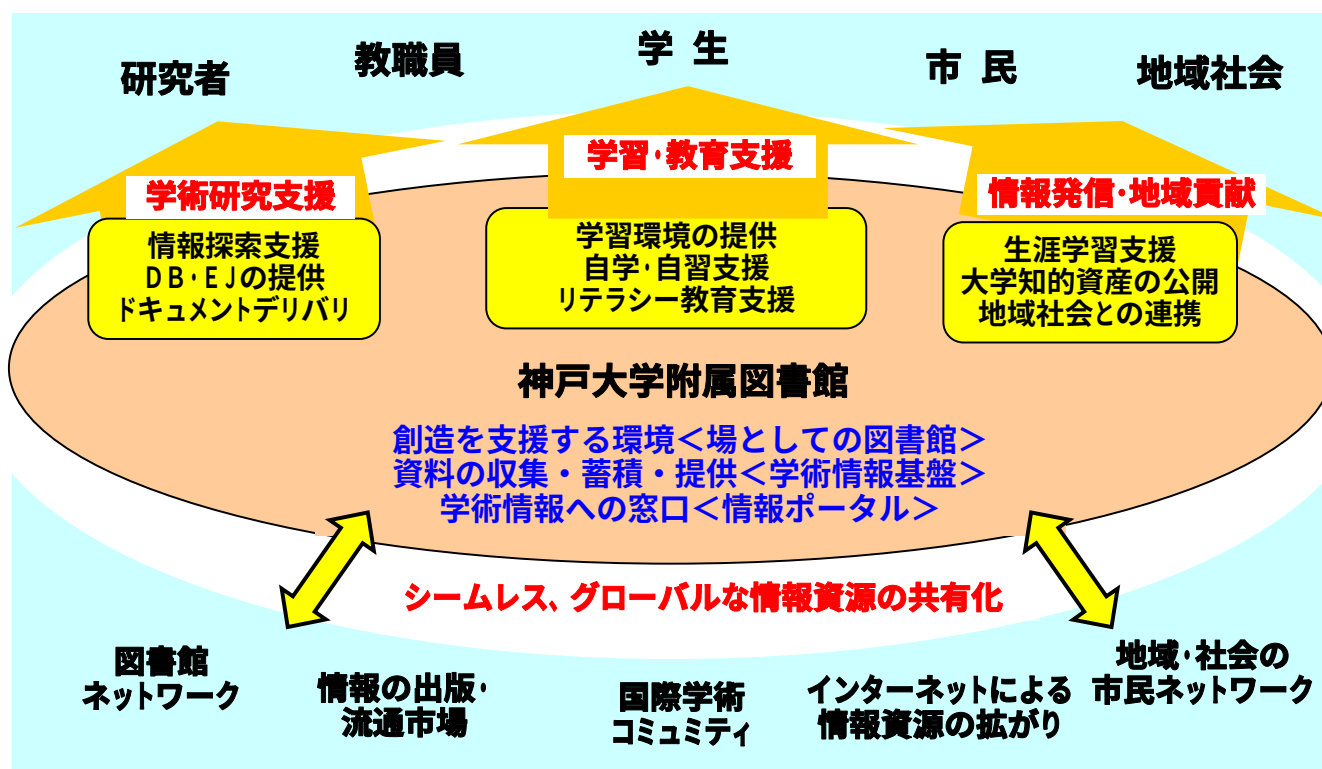
附属図書館の歩み	1
附属図書館の機能と整備・改善	2
図書館組織・事務組織	4
現況統計・諸統計の年次推移	5
利用サービスの展開	6
図書館ホームページ	8
目録データベースの形成とOPAC	9
電子ジャーナルとデータベース	10
デジタルアーカイブの構築・提供	11
展示会	13
各館(室)の概要	
総合図書館・国際文化学図書館	14
社会科学系図書館	15
自然科学系図書館	16
人文科学図書館	17
人間科学図書館	17
経済経営研究所図書館	18
医学分館	18
保健科学図書室	19
海事科学分館	19
外国雑誌センター・震災文庫	20
図書館配置図	21
図書館所在地・連絡先	22

附属図書館の歩み

明治	35年	(1902)	神戸高等商業学校開校
明治	36年	(1903)	神戸高等商業学校図書館開館（36年に図書課設置、40年に夜間開館開始）
大正	10年	(1921)	神戸高等工業学校開校（図書課を設置）
昭和	8年	(1933)	現在の社会科学系図書館本館が竣工
	10年	(1935)	社会科学系図書館本館2階書庫入口に壁画「青春」（中山正實氏）が描かれる
	18年	(1943)	第1回三商大（神戸・東京・大阪）図書館協議会を開催
	24年	(1949)	新制神戸大学設立、附属図書館設置 設置当初は、六甲台分館・住吉分館・長田分館・姫路分館の4分館、学舎の六甲地区集中を経て、昭和39年度には、六甲台分館・文学部・教育学部・理学部・工学部・教養部の6分館及び中央図書館に編成
	40年	(1965)	県立神戸医科大学の国立移管に伴い、附属図書館医学部分館設置
	44年	(1969)	県立兵庫農科大学の国立移管に伴い、附属図書館農学部分室設置
	54年	(1979)	附属図書館審議会「神戸大学附属図書館構想と実現の経過措置」を承認
	55年	(1980)	附属図書館に1部2課の部課長制を布く
	56年	(1981)	現在の社会科学系図書館管理棟が竣工
	58年	(1983)	情報処理センター（現、学術情報基盤センター）のコンピュータにより業務電算化に着手 ・外国雑誌管理システム（1983）・和雑誌管理システム（1984）・貸出管理システム（1986） ・学術情報センター（現、国立情報学研究所）とネットワーク接続（1987）
	59年	(1984)	自然科学系図書館竣工（理・工・農各館を統合）、人文・社会科学系図書館（六甲台・文を統合）
	61年	(1986)	文部省（当時）より、人文・社会科学系外国雑誌センターに指定される。
平成	元年	(1989)	図書館業務専用電算機を導入 目録業務を電算化し、オンライン目録（OPAC）の提供開始 図書受入・雑誌所蔵等全業務の電算化を実現
	2年	(1990)	附属図書館審議会「インテリジェント・ライブラリの実現に向けて」を承認
	4年	(1992)	評議会が「図書館改革」を承認 図書館組織（全学6館室体制）、事務組織（1部2課16係）及び管理運営費の一元化 ILL（図書館間文献複写）システムの運用開始、目録遡及入力事業を開始
	6年	(1994)	学内LANによる情報検索サービス（CD-ROMサーバ）を開始
	7年	(1995)	阪神・淡路大震災 「震災文庫」の開設 図書館ホームページの正式運用開始
	8年	(1996)	医学部分館新営及び人間科学系図書館改築が実現
	9年	(1997)	図書館業務システムを更新、Web版OPACのサービス開始 医療技術短期大学部の編入に伴い、医学部分館名谷分室（現、保健科学図書室）を設置 附属図書館研究開発室を設置
	11年	(1999)	神戸大学電子図書館システムの運用開始 電子情報掛（現、電子図書館係）を設置
	12年	(2000)	附属図書館審議会が「神戸大学附属図書館将来構想」を学長に答申
	13年	(2001)	図書館業務システムを更新、「パーソナルサービス」の運用開始 情報リテラシー掛を設置
	14年	(2002)	国立大学図書館協議会コンソーシアムに加盟、電子ジャーナルの本格サービスを開始
	15年	(2003)	神戸商船大学統合に伴い、海事科学部分館を設置 電子図書館システムの更新
	16年	(2004)	国立大学法人化を機に図書館規則を改訂、図書館組織を改編 「総合図書館」設置、経済経営研究所図書館の編入など10館室体制、事務組織を1部2課19係に 附属図書館の中期目標・中期計画、年次計画を策定、評価委員会設置 附属図書館年次報告（平成15年度）を作成・公開、以後毎年継続 社会科学系図書館フロンティア館増築竣工、図書館資料展示会の開始
	17年	(2005)	図書館利用者アンケート調査、神戸大学機関リポジトリ構築に向けた基礎調査を実施 図書館業務システムの更新
	18年	(2006)	附属図書館審議会が「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について」を学長に答申 神戸大学学術成果リポジトリ（Kernel）が本格実施
	19年	(2007)	総合・国際文化学図書館、人文科学図書館及び人間科学図書館で大規模改修実施、常設展示会の開始 部局拠出を含む全学経費により電子ジャーナルやDB等の教育研究基盤資料の整備を継続実施
	20年	(2008)	電子図書館システムを更新 リンクリゾルバを導入 EJ及びDBの整備に関するアンケートを実施 全国図書館大会兵庫大会第2分科会（大学・短大・高专）の企画・運営に協力 附属図書館審議会が「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」を学長に答申
	21年	(2009)	附属図書館の第2期中期目標・中期計画、年次計画を策定 「神大図書館NEWS」の配信を開始

※ 年表示は暦年による

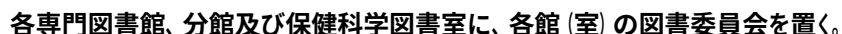
附属図書館の機能と整備・改善



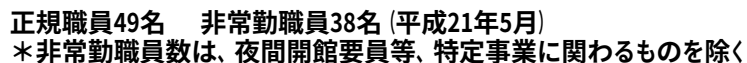
	最近の図書館サービス改善・整備	現状の課題
管理運営・ 全般的事項	・国立大学法人化時の組織・機構改革 (H16) 総合図書館、専門図書館、分館に再編 副館長の役割を館長補佐と規定 (「神戸大学附属図書館規則」の改訂)	・中期計画・年次計画の着実な遂行 (学習・教育支援) 学習環境の整備、学生用資料の整備、リテラシー教育支援 (学術研究支援) 研究基盤資料の計画的・継続的な整備 (情報発信・地域貢献) 機関リポジトリ推進、電子図書館、地域公開
	・中期目標・中期計画・年次計画の策定 (H16～) 学習教育支援、学術研究支援、情報発信・地域貢献を3本柱 ・第2期中期目標・中期計画・年次計画の策定 (H21)	・年次報告等による点検評価の着実な実施
	・附属図書館評価委員会を設置 (H16) 附属図書館年次報告の作成・公開 (H16～)	
	・附属図書館審議会「神戸大学附属図書館将来構想」答申(H12) 学習図書館、保存図書館、全学調整機能の必要性	・各館室の一層の整備及び資料収容スペースの確保
	・社会科学系図書館フロンティア館増築竣工(H16)	
	・自然科学系図書館の改装(H15-17)	
	・総合・国際文化学、人文科学、人間科学図書館の改修(H19) 人間科学図書館にハンドル式集密書架を増設(H18) 人文科学図書館にハンドル式集密書架を設置(H19) 総合・国際文化学図書館に電動式集密書架を設置(H20) 総合・国際文化学図書館に電動式集密書架を増設(H21)	・附属図書館審議会 答申の着実な実施
	・附属図書館審議会 「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について」答申 (H17) 「教育研究基盤資料の維持・整備方策」及び 「神戸大学機関リポジトリ構想」 「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」答申(H20)	
	・電子図書館システムの更新(H19)	・機関リポジトリ機能の強化
	・業務改善の検討 事務部内業務改善プロジェクト、WG (H15～) 全学業務改善プロジェクト (H17～)	・全学業務改善プロジェクトの成果に基づく 業務合理化・改善、事務組織の検討 (H18～)

	最近の図書館サービス改善・整備	現状の課題
学習教育支援	[学生用資料の整備充実] ・学生用資料経常予算の大幅増額 (H17～) ・「学生用資料整備大綱」の策定 (H16) ・各館室の「学生用資料整備計画」(H17～) - シラバス掲載図書・学生希望図書の拡充 - シラバス掲載図書のOPACとのリンク付け、公開 ・学生用資料整備事業の評価 (H18～) - 選書・収集体制の拡充 - 各館室学生用コレクションの評価 ・e-Study資料の整備 (H18～) ・「先生からのおすすめ本」の公開	[学生用資料の整備充実]
	[学習環境の整備] ・開架図書室の整備、閲覧机・椅子の増設・更新 ・設備・機器の整備、自動貸出装置、BDS装置の増設・更新、情報端末の増設・更新 ・社会科学系図書館大閲覧室の空調設備設置・照明器具更新 ・社会科学系本館及び管理棟の空調設備更新	[学習環境の整備] ・備品、設備・機器の計画的な更新財源の確保 ・空調機器の新設・更新
	[開館日・開館時間の拡大] ・全館で 8:45開館 (H16～) ・平日開館時間の延長 (H18～) ・土曜・日曜開館の拡大(H18～) ・人間科学図書館 平日21:00まで開館延長(H21)	[開館日・開館時間の拡大] ・時間外開館のための人員及び財源の確保
	[情報リテラシー教育支援・図書館ガイダンス] ・情報リテラシー系の設置 (H13) ・必修科目「情報基礎」の支援開始 (H16～) ・「情報基礎」講義における時間の確保 1コマ90分 (H20～) ・「神大図書館NEWS」の配信を開始(H21)	[情報リテラシー教育支援・図書館ガイダンス] ・教員との連携体制 ・期間、運営方法、広報等の改善
	[学習支援サービスの強化] ・資料配送サービスの開始 (H12) ・「パーソナルサービス」開始 (H13)、拡充 (H17) ・卒業生等への貸出サービスの開始 (H20)	[学習支援サービスの改善・高度化] ・資料配送サービスのかかる経費の増加 ・OSの更新、各種ソフトウェアの導入
学術研究支援	[学術情報基盤資料の整備] ・国大図協の電子ジャーナルコンソーシアムに参画 (H14～) ・Web of Science (H15)、SciFinderの導入 (H16) ・図書館審議会「教育研究基盤資料の維持・整備方策」の答申を受け3年計画で実施 (H19～21) - 電子ジャーナルの安定的な整備 - データベースサービスの拡充 「高額教育研究基盤図書」の計画的な収集・整備 ・日経テレコン21の導入 (H18) ・外国雑誌センター館活動の継続	[学術情報基盤資料の整備] ・次期中期計画での電子ジャーナル等の維持・整備方策の策定
	[目録情報の整備] ・遡及入力事業の継続実施 (H4～) ・OPACの多言語対応・機能向上 (H17)	[目録情報の整備] ・遡及入力事業の早期完成 ・各種学術情報資源の横断的提供
	[研究支援サービスの強化] ・GIFへの参加 (H16) ・法人カードによる図書資料購入開始(H18) ・バウチャー制度導入(H19) ・リンクリゾルバの導入(H20)	[研究支援サービスの改善・高度化] ・資料購入整理業務の改善・迅速化 ・選書機能の提供 ・デリバリーサービスの強化・拡充 ・各種サービスの学内研究者への周知
情報発信・地域貢献	[図書館の公開] ・学外者への貸出サービス開始 (H16試行、H17～) ・図書館資料展示会の開催 (H16～) ・常設展示コーナーの設置(H19～) ・人と防災未来センターと合同資料展・講演会の開催 (H21)	[図書館の公開] ・図書館資料展示会の継続的な開催、学外での開催 ・地域図書館との協力関係の拡大
	[電子図書館システムによる情報発信] ・科学研究費研究成果公開促進費 「阪神・淡路大震災マルチメディアアーカイブス」(H11～15) ・科学研究費研究成果公開促進費 「戦前期新聞経済記事文庫データベース」(H16～H20,H21～) ・電子図書館システムの更新 (H14・H19) ・神戸大学学術成果機関リポジトリの推進 (H18～)	[電子図書館システムによる情報発信] ・次期電子図書館システム (H22予定) ・図書館業務システムと一元化検討 ・神戸大学学術成果リポジトリの充実
	[図書館界における諸活動] ・近畿イニシア関係委員会への参加 (H17～) ・兵庫県大学図書館協議会会長館	

附属図書館組織



事務組織と職員配置



経済経営研究所事務長	研究所図書係	3	1	経済経営研究所図書館
------------	--------	---	---	------------

図書館の現況統計

		総合・国際 文化学 図書館	社会科学 系図書館	自然科学 系図書館	人文科学 図書館	人間科学 図書館	経済経営 研究所 図書館	医学分館	保健科学 図書室	海事科学 分館	合計
蔵書冊数 (H20末) ：上段 受入冊数 (H20) ：下段	和漢書	355,941	586,351	251,367	177,031	247,590	118,340	55,684	52,508	195,913	2,040,725
		7,906	12,977	5,045	4,225	5,308	1,366	2,292	2,224	3,794	45,137
	洋書	145,413	670,325	225,340	105,882	73,473	154,979	81,445	8,201	57,889	1,522,947
		1,283	8,981	2,584	1,363	2,031	1,026	586	302	623	18,779
雑誌所蔵 種類数 (H20末) ：上段 受入種類数 (H20) ：下段	合計	501,354	1,256,676	476,707	282,913	321,063	273,319	137,129	60,709	253,802	3,563,672
		9,189	21,958	7,629	5,588	7,339	2,392	2,878	2,526	4,417	63,916
	和雑誌	1,419	2,171	2,304	2,826	1,683	1,929	704	594	3,487	17,117
		414	1,252	884	1,584	893	470	443	349	715	7,004
	洋雑誌	895	6,103	2,701	1,115	696	2,122	1,403	158	1,503	16,696
		104	2,091	345	261	147	527	220	56	130	3,881
	合計	2,314	8,274	5,005	3,941	2,379	4,051	2,107	752	4,990	33,813
		518	3,343	1,229	1,845	1,040	997	663	405	845	10,885
入館者数		264,910	248,582	183,080	64,194	101,617	7,895	96,305	95,492	52,753	1,114,828
貸出冊数 (H20)	教職員	4,663	9,860	1,901	2,685	1,100	793	3,489	1,176	2,145	27,812
	学生	51,248	65,235	37,039	14,456	16,493	934	7,266	12,172	13,096	217,939
	学外者	465	1,870	30	72	266	0	18	2	496	3,219
	合計	56,376	76,965	38,970	17,213	17,859	1,727	10,773	13,350	15,737	248,970
ILL (H20) 複写：上段 貸借：下段	依頼	661	909	1,293	1,047	1,658	73	2,188	2,402	158	10,389
		337	472	156	775	354	4	14	40	6	2,158
	受付	302	5,049	1,937	1,134	709	457	1,841	541	489	12,459
		248	1,665	197	511	187	46	18	19	128	3,019
図書館 施設	面積	3,558	10,707	3,287	1,414	1,474	1,164	1,612	848	2,170	26,234
	座席数	450	411	223	105	151	11	164	70	133	1,718

注「平成20年度 神戸大学附属図書館年次報告」による。

諸統計の年次推移

	蔵書冊数：上段 年間受入冊数：下段			所蔵雑誌種数 受入雑誌種数	貸出冊数 学生	ILL 複写件数 貸借件数		資料費 (千円)
	和書	洋書	合計			依頼	受付	
昭和63年度	1,402,936	1,110,684	2,513,620	25,331	141,187	4,970	5,204	605,566
	38,853	38,315	77,168	16,165		170	62	
平成3年度	1,516,243	1,202,709	2,718,952	26,411	151,193	5,557	7,807	619,709
	35,113	29,322	64,435	17,011		255	155	
平成6年度	1,614,293	1,287,863	2,902,156	27,833	148,610	9,269	14,340	658,898
	31,696	28,446	60,142	17,223		346	518	
平成9年度	1,735,807	1,380,723	3,116,530	29,183	168,219	15,120	25,288	760,340
	41,056	32,113	73,169	17,038		1,630	1,699	
平成12年度	1,865,220	1,467,065	3,332,285	30,345	215,845	19,653	18,421	781,078
	45,722	29,520	75,242	16,322		1,233	2,515	
平成13年度	1,907,538	1,494,978	3,402,516	30,818	227,549	21,977	22,981	744,699
	42,271	28,160	70,431	15,970		2,049	2,332	
平成14年度	1,953,518	1,509,172	3,462,690	31,007	223,695	20,641	21,959	716,662
	46,948	24,562	71,510	15,661		2,080	2,282	
平成15年度	1,851,198	1,459,536	3,310,734	31,717	221,558	15,818	17,181	701,174
	38,505	23,464	61,969	14,176		1,805	2,322	
平成16年度	1,895,353	1,477,536	3,372,889	32,150	223,051	12,486	14,644	611,588
	44,589	18,412	63,001	12,981		1,891	2,096	
平成17年度	1,933,314	1,495,914	3,429,228	32,740	228,208	11,444	15,021	614,301
	39,713	18,619	58,332	11,234		2,047	2,849	
平成18年度	1,977,322	1,513,848	3,491,170	33,041	233,283	10,919	14,755	655,744
	44,474	18,262	62,736	11,215		2,469	3,401	
平成19年度	2,012,829	1,511,855	3,524,684	33,330	215,717	9,891	12,592	666,575
	43,536	19,415	62,951	10,519		2,187	2,583	
平成20年度	2,040,725	1,522,947	3,563,672	33,813	217,939	10,389	12,459	688,656
	45,137	18,779	63,916	10,885		2,158	3,019	

利用サービスの展開

サービス対象者数（平成21年5月1日現在）

学部学生	大学院学生	教職員	合計
12,407	4,855	2,955	20,217

開館日・開館時間

		総合・国際	社会科学系	自然科学系	人文科学	人間科学
通常期	平日	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-20:00	8:45-21:00
	土曜	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	日曜	休館	10:00-18:00(注1)	休館	休館	休館
休業期		平日17:00まで 土日休館	通常期と同じ 8月は土日休館	平日17:00まで 土日休館	平日17:00まで 土日休館	平日17:00まで 土日休館

(注1) 毎月第1日曜日は除く

		研究所	医学分館	保健科学	海事分館
通常期	平日	8:45-17:00	8:45-21:00	8:45-20:00	8:45-20:00
	土曜	休館	9:00-17:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	日曜	休館	休館	休館	休館
休業期		通常期と同じ	通常期と同じ	平日17:00まで 土日休館	平日17:00まで 土日休館

*24時間開館（図書館特別利用）

医学分館	H9～	教職員、大学院学生、医学科2-6年次学生
自然科学系図書館	H11～	教職員、大学院学生

*試験期特別開館 各館室で開館時間延長、土日祝日の開館を実施

貸出図書配送（デリバリ・サービス）

平成12(2000)年度後期より、貸出・返却図書の館室間配送サービスを実施している。
利用者がWWW経由もしくはカウンターで配送を申し込むと、他館室の図書を最寄りの館室で受け取ることができる。
(返却も同様に可。) 六甲台地区各館室間(週3回配送)は教職員・大学院学生、キャンパスの離れた館室間(随時配送)は教職員・学生をサービス対象としている。

各種申込

平成13(2001)年より、利用者が直接図書館ホームページから各種申込・情報照会を行えるサービスを提供している。

他の図書館の利用・ILL

- ・文献複写
- ・現物貸借
- ・訪問利用

図書購入依頼

- ・(研究用)図書購入依頼申込
- ・(研究用)図書購入依頼申込状況照会
- ・学生希望図書申込



リテラシー教育

情報サービス課情報リテラシー係（H13設置）を中心に実施している。

平成20(2008)年度実施のガイダンス等

名 称	内 容	月 日	時 間	場 所	回 数
留学生ガイダンス	図書館の利用案内	4、10月	10分	六甲ホール	2
大学院入学生ガイダンス	図書館の利用案内、他	4月	50分	国際文化学部	1
OPACガイダンス（新入生）	資料の探し方 （館内ツアー、OPACガイダンス）	4-5月、 10月	20分	総合・国際文化学図書館 ほか各館室	49
情報の探し方ガイダンス （基本/応用編）	情報検索術 雑誌論文の探し方（海外編） 雑誌論文の探し方（国内編） 電子ジャーナル データベース等	6-7月	60分	総合・国際文化学図書館 自然科学系図書館	12
情報の探し方ガイダンス （個々のデータベース編）	JDream II、Web of Science、 医中誌、PubMed、CiNii等	10-12月	60分	社会科学系図書館 自然科学系図書館 人間科学図書館 保健科学図書室	16
日経テレコン(就職関係)	就職関係、企業、人事情報	6、12月	60分	プレゼンテーションホール	4
Web of Science	雑誌論文の探し方	10月	60分	自然科学系図書館	2
SciFinderガイダンス	SciFinderの使い方	6月	90分	自然科学系図書館	1

平成16(2004)年度より、全学共通教育1年次生向けの必修科目「情報基礎」において、図書館職員が情報活用法の講義を担当している。平成20年度からは、1コマ（90分）全部が割り当てられ、情報リテラシー係と各館室のサービス係員から構成される「情報リテラシー教育支援WG」を組織して講義を行っている。

また、教員からの依頼によるオーダーガイダンスなども実施している。

（詳細は <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/www/> 情報検索 > 講習会）

授 業	内 容	月 日	回 数
情報基礎	情報リソース活用法	5-11月	24
オーダーメイドガイダンス	資料の探し方等	4、6、7、9月	6

利用者開放端末

図書館に設置している利用者開放端末数を示す。（平成21年9月現在）

館室	制限なし	一部 サイト	スタンド アロン	合計
総合・国際文化学図書館	37	11	1	49
社会科学系図書館	26	15	4	45
自然科学系図書館	32	8	0	40
人文科学図書館	13	4	0	17
人間科学図書館	13	4	0	17
経済経営研究所図書館	0	3	0	3
医学分館	10	5	1	16
保健科学図書室	10	2	0	12
海事科学分館	8	4	0	12
合計	149	56	6	211



「情報基礎」の授業風景

制限なしの端末は電子図書館システムの利用者用端末99台と学術情報基盤センター教育研究用計算機システムの教育用端末50台である。両端末はOS及びアプリケーションが統一されており、シームレスな利用が可能となっている。

これらの端末では、学術情報基盤センターの認証サーバを利用し、学生等の利用者はID認証を経てインターネットに接続できる。

加えて、国立国会図書館など選ばれた情報検索サイトのみ利用可、当館OPACのみ利用可、CD-ROM等のスタンドアロン利用のみ可、の端末も一定台数揃えている。これらは認証なしで利用可能である。

また、従来より閲覧室等で認証付き情報コンセントによるネットワーク接続が可能であったが、平成21年から無線LANでの接続も可能になった。

図書館ホームページを核とする高度図書館サービス

平成6 (1994) 年にホームページの作成を開始し、平成7 (1995) 年から正式運用している。
現在、図書館業務システム・電子図書館システムにより構築されるリソースやサービスを、
ホームページから統合的にアクセスできるようにしている。

機関リポジトリ

各館室ホームページ

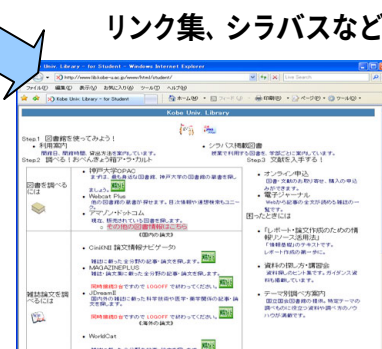
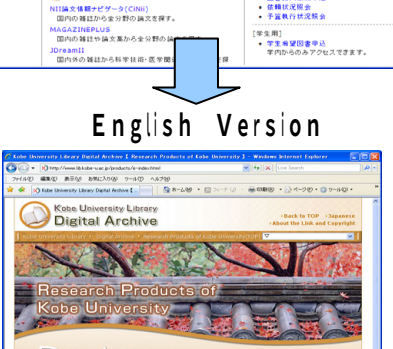
電子ジャーナル



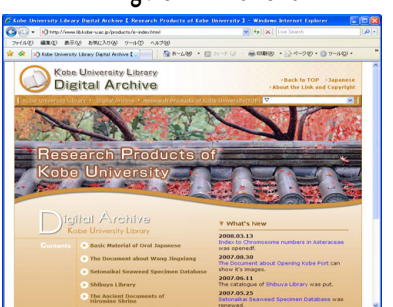
オンラインサービス



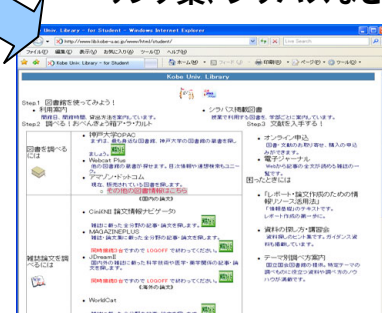
デジタルアーカイブ



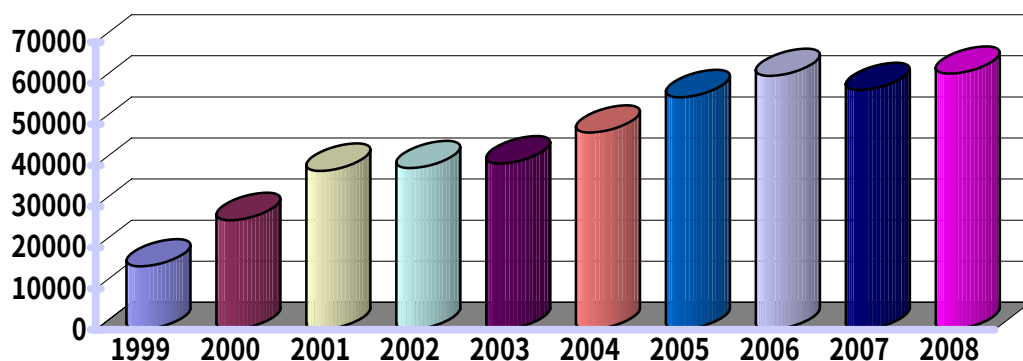
English Version



リンク集、シラバスなど



図書館トップページの月平均アクセス数



目録データベースの形成とOPAC

目録業務の電算化は、平成元年(1989)の図書館業務専用機の導入とともに開始された。

当初は館内配置の目録端末限定サービスであったが、平成3(1991)年には学内研究室等からの検索を実現し、平成9(1997)年のUNIX系サーバへのシステム更新によりWeb版OPACとなり、国内外からの蔵書検索を可能としている。

平成13(2000)年度のシステム更新では、利用者による端末からの貸出予約・貸出状況照会機能を追加し、平成17(2005)年度のシステム更新では多言語対応としたほか、NACSIS-WebCATとの同時検索、所属館室への限定検索、検索結果をメールに送信したり、ファイルに出力する機能を付加した。



遡及入力事業

平成4(1992)年度から、本学蔵書の目録データの遡及入力事業を開始している。

平成4年度、学内で「附属図書館インテリジェント化予算」が認められ、以後、第1期(平成4-8年)、第2期(平成9-13年)、第3期(平成14-18)を経て現在も継続実施しており、平成20(2008)年度末現在、ローカルの蔵書目録データベースには約278万冊(複本・製本雑誌等を含む)、全国総合目録データベースには150万冊以上を登録している。

この間、平成7-10年度には科学研究費補助金研究成果公開促進費(データベース名:社会科学文献・画像データベース)の一部を、平成11年度以降は電子図書館推進経費の一部を遡及入力に充当してきた。さらに、平成15年度からは、国立情報学研究所との共同遡及入力事業として、人文科学図書館の個人文庫、経済経営研究所の中南米文庫など特色あるコレクションの入力を実施し、全国的な総合目録の形成にも大きな貢献をしている。

NACSIS-Cat 新規書誌登録件数の推移

国立情報学研究所HPよりデータ編集

館室	1990-1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	新規登録数	登録所蔵件数
総合・国際文化学図書館	4,524	242	569	439	872	1,425	848	2,406	1,796	820	1,117	857	831	1,423	18,169	273,569
社会科学系図書館	21,876	20,487	14,754	13,633	10,105	7,534	4,723	7,987	9,970	2,204	1,886	2,004	7,039	2,852	127,054	543,913
自然科学系図書館	3,269	707	1,886	702	521	431	343	180	203	381	212	283	169	565	9,852	121,492
人文科学図書館	2,139	815	730	746	386	390	312	209	1,494	1,629	1,805	579	565	300	12,099	141,228
人間科学図書館	1,068	237	687	1,361	975	714	135	108	1,299	1,194	323	167	28	130	8,426	146,164
経済経営研究所図書館	3,187	74	226	395	344	251	261	196	165	2,957	1,063	1,177	1,633	984	12,913	101,879
医学分館	271	520	126	80	59	43	62	343	88	76	65	101	101	109	2,044	25,172
保健科学図書室	1,252	62	82	378	218	102	77	98	102	58	92	133	209	117	2,980	34,893
海事科学分館	622	172	81	92	23	0	0	0	116	567	609	924	992	1,376	5,574	115,311
合計	38,208	23,316	19,141	17,826	13,503	10,890	6,761	11,527	15,233	9,886	7,172	6,225	11,567	7,856	199,111	1,503,621

電子ジャーナルとデータベース

学内から利用出来る主な出版社の電子ジャーナル (合計 13,400誌)

Elsevier	2,439	誌
Wiley- Blackwell	1,571	誌
Springer	1,849	誌
JSTOR	1,213	誌
LWW via Ovid	114	誌
Nature関連誌	31	誌
IEEE CSLSP-e	26	誌
ACM	489	誌
SouceOECD	158	誌
Cell関連誌	8	誌
Emerald	139	誌
ACS	52	誌
APS	16	誌
Cambridge	238	誌
Oxford	218	誌
EBSCOhost Business Source Premier	2,487	誌
CiNii (定額許諾)	457	誌
メディカルオンライン	714	誌
その他	1,181	誌

平成21年9月現在 ※無料誌は含まず



(詳細は <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/www/> > 電子ジャーナルリスト)

学内から利用出来るデータベース一覧

平成21年9月現在

分野内容	データベース	分野内容	データベース
文献引用情報	ISI Web of Science (自然科学分野) 1986- (人文・社会科学分野) 1999-	英語辞書	Oxford English Dictionary. 2nd ed
引用情報	Journal Citation Reports	人物情報	Dictionary of National Biography
雑誌記事	Readers' Guide to Periodical Literature 1983- MAGAZINEPLUS JDreamII 1975-		Dictionary of American Biography
新聞企業情報	日経テレコン21 1981-		Who's Who 1897-1998
新聞記事	聞蔵IIビジュアル 1945- 毎日Newsパック 1872-1958,1987- ヨミダス歴史館 1874-		Marquis Who's Who on the Web 1607-
各種(百科事典)	JapanKnowledge+NR	歴史	International Medieval Bibliography
数学	MathSciNet		House of Commons Parliamentary Papers 19/20th century
化学	SciFinder Scholar 1840- Dialog OnDisc Polymer Encyclopedia Properties of Organic Compounds Handbook of Ternary Alloy Phase Diagrams	各国情報	World Development Report
自然科学	McGraw-Hill Multimedia Encyclopedia of Science & Technology		World Development Indicators
医学	医中誌WEB 1983- Evidence Based Medicine Reviews via Ovid Atlas of Anesthesia Dorland's Electronic Medical Dictionary Elsevier's Interactive Anatomy Up to Date		Encyclopedia of the American Constitution
		哲学	ASIA : Official British Documents 1945-65
		法学	Routledge Encyclopedia of Philosophy
		経済学	Index to Legal Periodicals & Books 1981-
		経営学	EconLit 1969-
		統計	Business Periodicals Index 1982-
			商業統計表 1985-2002
			工業統計表 1985-2003
			国勢調査(従業通学) 1980-1995
			国勢調査(第2次基本集計) 1985-2000
		社会学	Cross-Cultural Database
		教育	Education : the complete encyclopedia
		官報	官報情報検索サービス

(詳細は <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/www/> > データベース一覧)

デジタルアーカイブの構築・提供

「神戸大学電子図書館」は、所蔵資料などの知的資産や教育・研究成果の「デジタルアーカイブ」を広く世界に発信し、社会に対する本学の知的資源のポータル（窓口）機能を果たすことを目指している。

平成18（2006）年度からは、学内の教育・研究成果を本格的に収集・保存・提供する「神戸大学学術成果リポジトリ Kernel」の公開を開始した。



● 震災文庫デジタルアーカイブ

「震災文庫」所蔵資料について詳細なメタデータの提供に加え、著作権者の許諾が得られた一次情報のデジタル公開を行っている。公開している一次情報は、図書約400点、写真約24,000点、一枚もの約3,000点のほか、動画・音声・広報類・データファイルなど多岐に渡っている。（平成21年9月現在）

平成15（2003）年より「地図からの検索」機能を導入し、さらに平成20（2008）年にはその機能をGoogleMapを使用したものに変更するなど、システム改良にも努めている。

また平成21（2009）年、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターと提携し、両館の所蔵資料合計約70,000点が検索できる「震災資料横断検索」を公開した。

本アーカイブの構築には、平成11～15年度の間に、科学研究費補助金研究成果公開促進費（データベース名：阪神・淡路大震災マルチメディア・アーカイブス）の助成を受けた。



● 経済関係資料アーカイブ

明治末～戦前期の新聞切抜資料「新聞記事文庫」（経済経営研究所図書館所蔵）の全文・画像のデジタル化を進め、約20万記事を公開している。本事業は、平成16（2004）年より、5年計画で科学研究費補助金研究成果公開促進費（データベース名：戦前期新聞経済記事文庫データベース）の助成を受けた。平成21（2009）より新5年計画で、初年度の助成を受け、事業を継続している。

また、江戸期～明治初期の海軍関係資料コレクション「住田文庫」の一部をデジタル公開している。

その他、神戸港開港関係資料や各種貴重書についても進行中である。

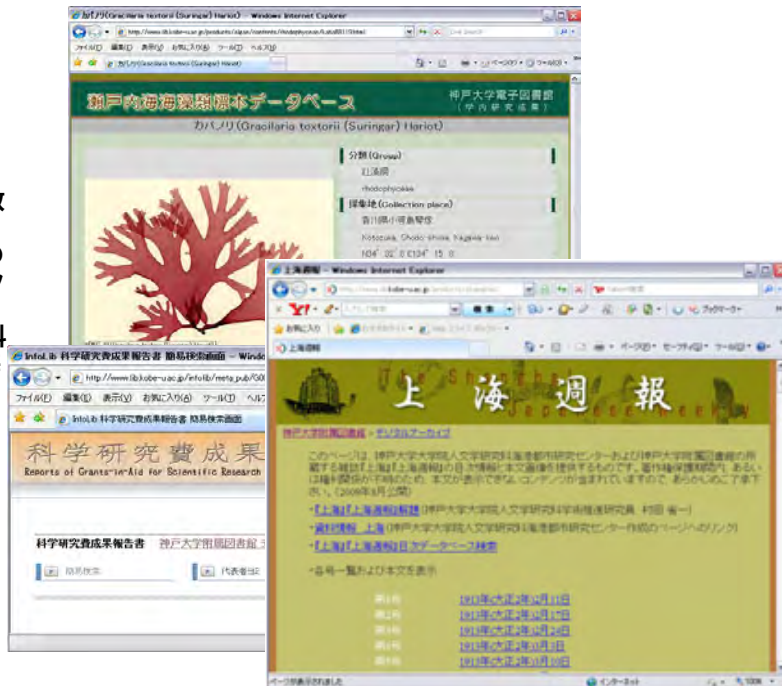


● 学内研究成果アーカイブ

「キク科の染色体数データベース」「瀬戸内海海藻類標本」「王敬祥関係文書」等、神戸大学における教育・研究の成果を図書館サーバから公開している。

また、科学研究費報告書・学位論文・研究紀要等の論文情報データベースを作成し、一次情報へのリンク情報を提供している。

平成21(2009)年には神戸大学大学院人文学研究科海港市研究センターとの提携により、『上海』『上海週報』を公開した。また『鈴木商店商報』『鈴木商報』を公開した。



● デジタルアーカイブ検索

各種のアーカイブを横断的に検索可能な「デジタル・アーカイブ横断検索」機能を提供している。

各アーカイブを検索し、それぞれのヒット件数を表示させた後に詳細情報へとナビゲートされる。

この横断検索はZ39.50^(*)とSRW^(**)に対応した汎用的なシステムであり、検索対象は適宜追加可能である。現在は電子図書館の各アーカイブに加え図書館OPACを検索対象としている。



(*) Z39.50：複数のコンピュータに保管されているデータベースに対して情報検索を行うための標準的なプロトコル

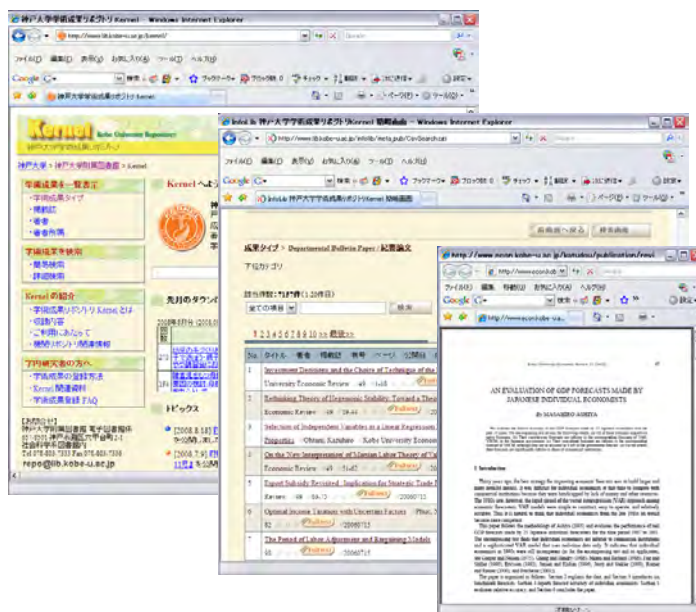
(**) SRW：Web環境における情報検索のためのプロトコル

● 神戸大学学術成果リポジトリ

平成18年10月より、神戸大学学術成果リポジトリ（機関リポジトリ）の公開を開始した。

学術成果リポジトリでは、神戸大学内で生産された学術成果の収集公開と神戸大学および研究者の知名度向上を目指している。

学術雑誌に掲載された論文、紀要の論文、博士号学位論文、図書、学術報告書、データベース、教材などあらゆる種類の学術成果が収録対象である。平成21年9月現在、10,000件を超える学術成果が登録されており、月間の本文ダウンロード数は平均26,000である。



展示会

- 神戸大学附属図書館では、平成16(2004)年度の「震災文庫展示会」以降毎年、図書館が所蔵する各種資料の展示会を開催している。また、平成19(2007)年9月には、社会科学系図書館2階に展示コーナーを開設した。
 - 平成21年度は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災からまもなく15年という節目を迎えるにあたり、震災直後から、被害・救援・復興などに関するさまざまな資料を収集し、広く一般に公開するという取り組みを続けてきた「震災文庫」の資料を中心とした展示会を、10月から来年1月まで開催している。
- 本展示会は、「震災文庫」と同様の取り組みを行っている「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」との共催による合同資料展で、同センターの会場でも同時開催しており、11月には同センターを会場として講演会も開催する。

■ 合同資料展 「資料が語る 阪神・淡路大震災の記憶と現在(いま)」 2009年10月9日(金)～2010年1月22日(金)

展示会場①

社会科学系図書館「2階展示コーナー」

1. 震災の報道と被災状況
2. 震災の中で大学は—
3. 震災を伝える—復興までの道のり

社会科学系図書館「震災文庫」

4. モノ資料の展示(人と防災未来センター所蔵)
電子展示

展示会場②

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

防災未来館5階「資料室」無料ゾーン

1. 震災資料が語る記憶—収集
2. 震災資料を伝える—保存
3. 震災資料の現在(いま)—公開・活用
4. 震災と文芸

講演会 2009年11月28日(土)

会場: 人と防災未来センター防災未来館1階
「ガイダンスルーム」

過去を受け止め、未来に生きる

- 震災資料の収集・保存の意義を考えながら—
神戸大学名誉教授 岩崎 信彦

震災資料が生まれる

- 震災資料収集・保存の現場から—
神戸大学地域連携推進室 地域連携研究員
佐々木 和子



- 平成20年度は本年がブラジル移民100年の節目にあたることから、ブラジル移民100年をテーマとして第3回常設展を9月26日から12月19日まで社会科学系図書館展示コーナーで開催した。

■ 第3回常設展 「神戸から新天地へ —ブラジル移民の100年—」



…明治41年4月28日、神戸港からブラジルへ向かう移民が乗った笠戸丸が出帆した。そこから神戸の移民歴史がはじまる。ちょうど今から100年前のこと。移民関係の資料を展示した。

- 第1回常設展 (平成19年度)
「近代神戸の源流を訪ねて
—開港と居留地—」

- 第2回常設展 (平成19年度)
「近代神戸の源流を訪ねて
—鈴木商店とマッチ産業の盛衰—」

第1～3回常設展はともに神戸をテーマとして、資料、その他写真及び説明パネルで構成し展示した。

- 展示会の案内、内容等は、神戸大学附属図書館ホームページの「展示会」へ掲載。

URL: <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/www/html/tenjikai/tenji.html>

総合図書館・国際文化学図書館

General Library Library for Cross-Cultural Studies

平成16(2004)年の国立大学法人化を機に「国際・教養系図書室」を、全学共通教育のための学習図書館機能を担う「総合図書館」と、国際文化学部及び総合人間科学研究科の教育・研究のための専門図書館機能を担う「国際文化学図書館」に組織を分離した。

総合図書館は、平成12年の附属図書館審議会答申「神戸大学附属図書館将来構想」にあるとおり、学習支援機能の強化と、全学の図書館の調整機能を担う図書館として構想されたものである。新館建設の構想はあるが、当面は国際文化学図書館と同一施設で運用することとしている。

本図書館は、全館室の中で最もサービス対象学生数が多いため入館者数も最大で、最も活気にあふれた雰囲気のある図書館である。

蔵書構成は、全学共通教育支援の役割を担っていることから、ほとんど全分野にわたる資料を収集しており、特に一般教養図書が豊富である。法人化後は学生用資料費の重点的な配分を行い、これまで以上の資料の充実を図るとともに、ビデオ、DVD等の視聴覚教材も揃えている。

施設に関しては、利用者数の割に狭隘な点が大きな課題であるが、平成20年春の耐震補強並びに改修工事の竣工により、図書館フロアの大規模な配置の見直し、集密書架新設による収蔵力の強化、情報コンセント付き個人机やグループ学習室の増加、専用エレベーター設置など利用環境の向上と改善が図られた。

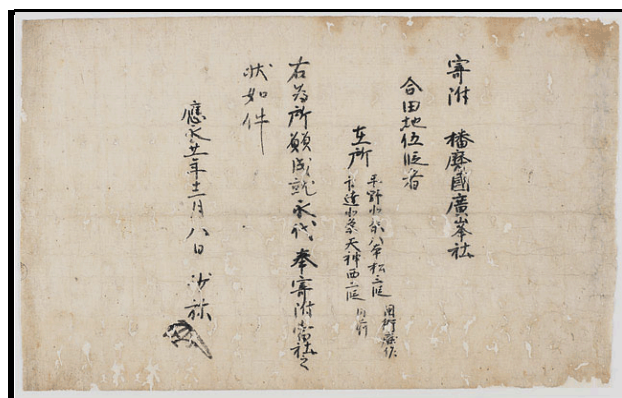
また平成16年10月からは、学外利用者への貸出サービスを開始し、地域連携にも努めている。



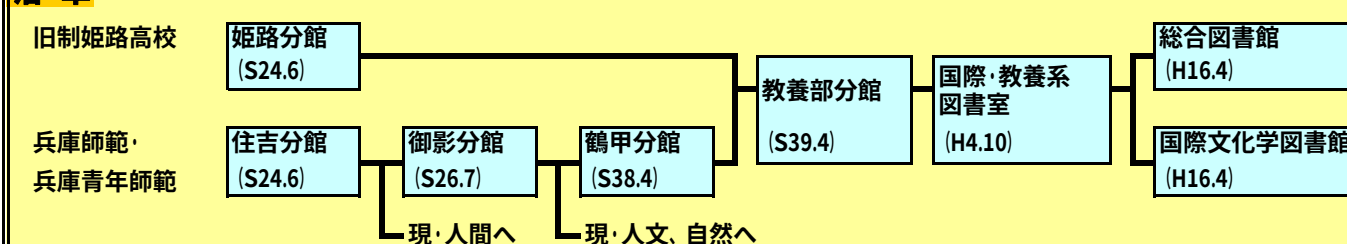
特色ある蔵書・コレクション

旧制姫路高等学校の蔵書を引き継ぎ、播磨地域の希少な古文書等を所蔵している。主要なコレクションを以下に示す。

播州関係郷土史料	播磨各地の郷土史料を主とする509種。代表的なものは以下の3種である。
広峰神社古文書	姫路の広峰神社に伝わった古文書19点、鎌倉期のものを含む。[電子図書館で公開]
浄土寺縁起	小野市浄土寺に関わる慶長年間の写本。原本を正確に伝える。[電子図書館で公開]
播州膝栗毛	十返舎一九作の江戸後期の刊本であるが、他に所在が確認されていない。
新島文庫	新島繁(野上巖)氏旧蔵の人文社会科学諸資料のコレクション 3,047点
原文庫	原弘毅氏旧蔵のドイツ文学・語学・芸術書のコレクション 1,411点
二宮文庫	二宮尊道氏旧蔵のD.H.ロレンスとT.S.エリオットを中心とする英文学書のコレクション 322点
百瀬文庫	百瀬弘氏旧蔵の漢籍を主とする中国史書のコレクション 449点



沿革



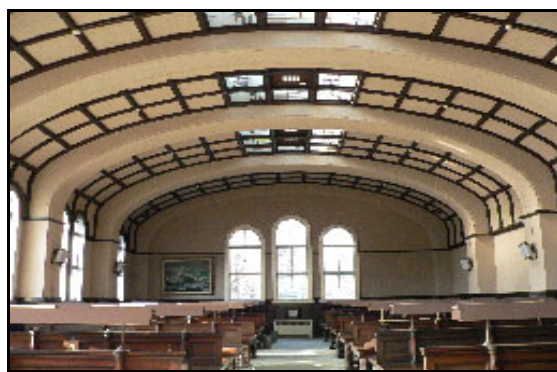
明治36(1903)年に開館した神戸高等商業学校図書館を前身とする学内で最も長い歴史と大きな規模を持つ図書館である。昭和8年(1933)、神戸商業大学の六甲台移転に伴って新営された現本館(国の登録有形文化財に指定)をもとに、書庫棟(1960年及び1971年)・管理棟(1981年)と増築を重ね、平成16年(2004)には、隣接して新営の社会科学系総合研究棟<フロンティア館>の一部(地下2階～地上3階)に待望の増築が実現した。

社会科学系図書館は、法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、国際協力研究科の社会系4部局を主なサービス対象とする専門図書館である。戦前からの蔵書を引き継ぎ、社会科学関係資料においては、質量ともに高い評価を受けている。また、人文・社会科学系外国雑誌センター及び「震災文庫」も本図書館に置かれている。

長らく課題であった施設狭隘がフロンティア館増築により解消し、開架図書室の拡充、書庫の増設、新着雑誌室・震災文庫室・貴重図書室・マイクロ資料室・情報端末室・グループ学習室・プレゼンテーションホールが整備された。また、増築を機に以下の永年の懸案を実現している。

独自の図書分類を日本十進分類に変更
学部学生の書庫利用実現
時間外開館時の利用可能エリアの拡大

本図書館は、附属図書館全体の管理運営機能(中央図書館機能)をも果たしてきた。法人化を機に「総合図書館」組織を分離したが、総合図書館新営までの当分の間、中央機能は引き続き本図書館に置かれ、附属図書館長、事務部長、情報管理課6係、情報サービス課1係が常駐している。



特色ある蔵書・コレクション

神戸高等商業学校の蔵書を引き継ぎ、多数の貴重書・古文書類、個人文庫を所蔵している。主要なコレクションを以下に示す。

住田文庫	住田正一氏より寄贈された、慶長～明治初年の 海事・海運関係資料コレクション 約6,500点
村上文書	摂津花隈村村上家旧蔵文書 約10,000点
神戸開港文書	土地・海運関係や居留地の生活・行政関係 1,128点
ズムマ	ルカ・パチョーリ著 算術・幾何・比および比例全書 複式簿記に関して世界で最初に出版された図書 といわれる。1494年ベネチア刊の初版本を所蔵



沿革

神戸高等商業学校
— 神戸商業大学
— 神戸経済大学

六甲台分館
(S24.6)

六甲台図書館
(S55.4)

人文・社会科学系図書
館
(S59.4)

社会科学系図書館
(H16.4)

自然科学系図書館は、理学研究科・工学研究科・農学研究科・自然科学系先端融合研究環を主なサービス対象とする専門図書館である。

また、昭和59(1984)年に当時の理・工・農各学部図書館を統合して新営された図書館でもある。

本図書館では、自然科学分野の教育研究活動にとって最重要資料である学術雑誌を、研究室に分散することなく集中配架し、全面開架方式と特別利用(24時間開館)によって利用の便を図ってきた。

また、オンライン情報検索やCD-ROMデータベース等を先進的に導入するなど、本学図書館サービスの情報化に大きな役割を果たしてきた。最近のインターネットによる電子ジャーナル、データベースの導入においても、主導的な役割を果たしており、附属図書館システム及びネットワークの中心機能を担っている。

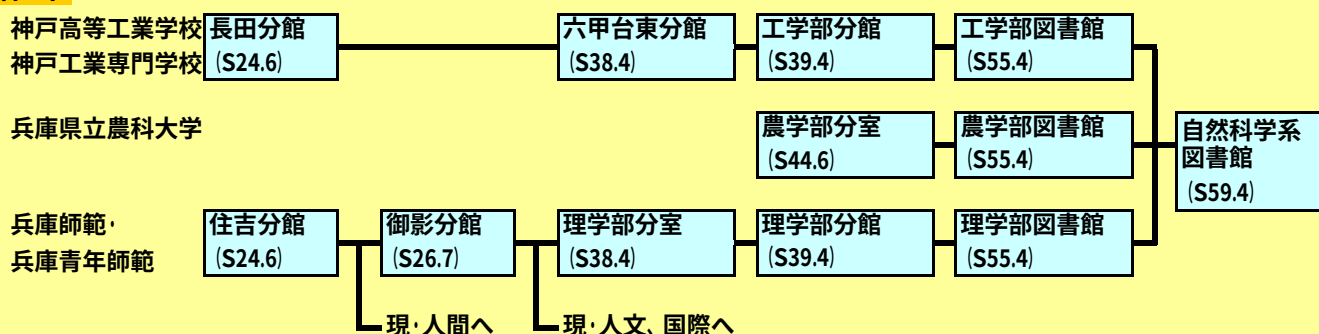
一方、新営から20年以上が経過し施設狭隘が大きな課題である。しかし、当面は増築が困難なことから、館内スペースの再配置を行い、利用スペースの拡大、学習支援機能の強化を図っている。

・平成19(2007)年には、閲覧机・座席数を拡充した。

利用面では、平成11(1999)年より特別利用(24時間開館)を実施している。



沿革



人文科学図書館

Library for Humanities

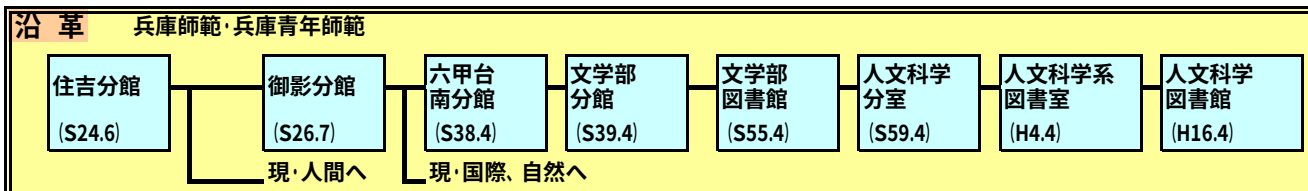
人文科学図書館は、人文学研究科を主なサービス対象とする専門図書館である。平成16(2004)年、国立大学法人化時に「人文科学系図書室」から「人文科学図書館」へと名称を変更した。

本図書館は、人文学研究科棟の1・2階に位置しており、蔵書は、人文科学系の資料が中心である。人文科学系の和洋雑誌を集中的に配置するほか、特に和漢洋の古典、基本的図書の整備・拡充に努めている。

平成6(1994)年に電動式集密書架を導入し、平成19(2007)年の改修工事に伴い地下書庫にハンドル式集密書架を導入し、1階閲覧スペースの増設により閲覧室席数の大幅な増加を実現した。



Brucker, Johann Jacob. Hitroria critica philosophiae	1767年出版の第2版全6巻を所蔵。初版は1742～44年であるが、第2版で夥しい補注が付されている
小林文庫	小林太市朗氏旧蔵の芸術・哲学・文学関係の和漢洋書 5,390点
井上文庫	井上庄七氏旧蔵の西洋近世哲学関係洋書 875点
雪山文庫	雪山俊夫氏旧蔵のドイツ学関係洋書 2,861点
市川文庫	市川承八郎氏旧蔵の西洋史学関係の洋図書 1,019点



人間科学図書館

Library for Human Development Sciences

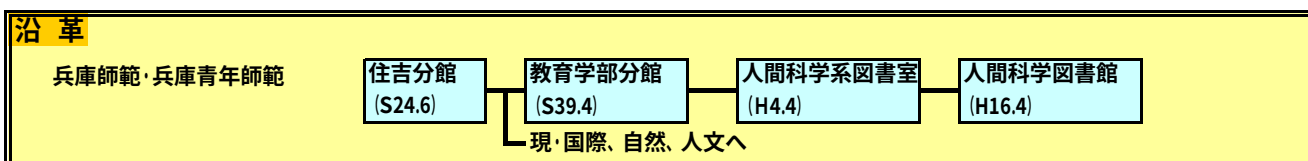
人間発達環境学研究科を主なサービス対象とする。長く「教育学部分館」であったが、平成4年(1992)年に教育学部が発達科学部に改組されたことに伴い、「人間科学系図書室」の名称になった。平成16(2004)4月より「人間科学図書館」へと改称した。

蔵書は旧教育学部分館のものを引き継いでいるため、発達科学のみならず、人文・社会・自然・芸術・体育など広範囲に及んでいる。

本図書館は発達科学部A棟1・2階に位置している。平成8(1996)年に閲覧室拡張等の改修工事、平成15(2003)年には書庫の一部に電動集密書架が設置されている。また平成19(2007)年には新たにグループ学習室も整備された。



「播磨萬寶智恵袋」	天川友親編、宝暦10(1769)年。播磨の地誌典籍125編を編集したもので、自筆原本を所蔵している。
「郷土研究資料」	兵庫県の歴史、地誌、教育に関する資料約7,000冊を所蔵している。
「教科書」	明治期の教科書から現行のものまで多数所蔵している。



経済経営研究所図書館

Library of Research Institute for Economics and Business Administration

経済経営研究所図書館は、附属図書館組織に属さない専門図書室として運営されてきたが、国立大学法人化を期に附属図書館の1館と位置づけられた。

経済学・経営学関係の図書・雑誌を幅広く収集しているほか、内外の企業関係資料や中南米関係資料などのコレクションを有している。また、経済協力開発機構(OECD)、国際労働機構(ILO)、世界貿易機関(WTO)、国際海事機構(IMO)、国際通貨基金(IMF)、世界銀行などの資料も積極的に収集している。



国連寄託図書館	本図書館は、日本に設置されている国連寄託図書館14館の内の一つで1968年に設置され、国際連合資料を所蔵し、広く一般に公開している。10,325点
新聞記事文庫	明治45年5月から昭和45年までの切抜帳約3,200冊、記事数約50万件の新聞記事切抜資料で、多種の新聞からの記事を研究者の目で分類しており、特に戦前のものは他に例のない貴重なものであり、現在デジタル公開を進めている。
中南米文庫	福原八郎・野田良治両氏の寄贈図書を基礎に昭和13年1月に開設された南米文庫を引き継いでいる。オセアニア文庫とともに地域研究資料として高く評価されている。11,628点
オセアニア文庫	昭和52年12月、オーストラリア政府寄贈図書を基礎に設置された。その後、オーストラリア、ニュージーランド経済・産業に関する資料を加えた地域研究資料となっている。3,200点



沿革		
神戸経済大学 経済研究所 ー経営機械化研究所	経済経営研究所 図書室 (S24.6)	経済経営研究所 図書館 (H16.4)

医学分館

Library for Medical Sciences

楠キャンパスにあって、医学研究科(医学部医学科)及び附属病院を主なサービス対象とする。昭和39(1964)年、兵庫県立神戸医科大学の神戸大学への移管に伴い、「医学部分館」として発足し、平成16(2004)年4月より「医学分館」と改称した。

蔵書内容は医学関係の学術雑誌を主体とし、広く医事・医療関係者も利用できる図書館となっている。また、医学部で新たに開始されたチュートリアル教育の資料提供も行っている。

利用面では、平成9(1997)年より特別利用(24時間開館)を実施し、また平成11(1999)年よりIDカードによる入退館システムを導入している。

本分館は、医学研究科管理棟の地階～2階に位置しており、現施設は平成8(1996)年に新営されたものである。



沿革		
兵庫県立 神戸医科大学	医学部分館 (S41.4)	医学分館 (H16.4)

保健科学図書室

Library for Health Sciences

名谷キャンパスにあって、保健学研究科を主なサービス対象とする。昭和56(1981)年に医療技術短期大学部図書館として発足したが、医学部保健学科発足後の平成9(1997)年に附属図書館組織に編入され「名谷分室」となった。平成16(2004)年4月より「保健科学図書室」と改称した。

看護学・検査技術科学・理学療法学・作業療法学・医療基礎学関係の資料を中心とした蔵書構成となっている。入口は2階にあり図書・新着雑誌を配架している。1階には雑誌閲覧室、集密書架があり雑誌のバックナンバーを閲覧できる。

1階にはグループ学習室、AVルームが利用できるほか、情報処理教室では教育用端末60台を設置しており、授業で使用する以外は利用者に開放している。



沿革

医療技術短期
大学部図書館
(S56.10)

医学部分館
名谷分室
(H9.4)

保健科学図書室
(H16.4)

海事科学分館

Library for Maritime Sciences

深江キャンパスにあって、海事科学研究科を主なサービス対象とする。平成15(2003)年10月、神戸大学と神戸商船大学の統合によって、神戸商船大学附属図書館が「海事科学部分館」となり、更に、平成16(2004)年4月より「海事科学分館」と改称した。

蔵書の中心は海事関係の図書・学術雑誌であり、全国でも数少ない海事専門図書館として、学内のみならず学外からも広く利用されている。

本分館の建物は、2階建の本館と、講義・研究棟1号館の一部として建築された書庫(4層)からなっている。



海図・水路誌

約7,000枚の国内・海外の海図や水路誌のコレクション

渋谷文庫

旧日本海軍造機技術資料

市村文庫

海商法関係資料

沿革

神戸商船大学
附属図書館
(S27.5)

海事科学部分館
(H15.10)

海事科学分館
(H16.4)

外国雑誌センター

神戸大学附属図書館は、人文・社会科学系外国雑誌センターの指定を受けている。

外国雑誌センターは、外国の学術雑誌、とりわけ国内に所蔵の少ない雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供することを目的として設置され、文部科学省の特別予算措置を受けて運営されている。人文・社会科学系、医学・生物学系、理工学系、農学系の4つの分野について、全国で9つの国立大学附属図書館が指定を受けている。

人文・社会科学系の外国雑誌センターとしては、昭和60(1985)年度の一橋大学に続いて、昭和61(1986)年度に本学が指定され、2大学でこの分野の収集につとめ、ILL(図書館間相互利用)システムを通じて全国に文献複写の提供サービスを実施している。

外国雑誌センターは社会科学系図書館に置かれており、平成20年度の受入雑誌数は1,096種である。



震災文庫 (阪神・淡路大震災関係資料文庫)

神戸大学附属図書館では、被災地の中にある大学図書館の責務として、平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災に関する資料の網羅的収集活動を行い、平成7年10月30日から「震災文庫」として一般公開している(社会科学系図書館内)。

震災文庫では、一般的な図書・雑誌のみならず、チラシ・ポスター・レジュメ・パンフレット・広報紙・写真・ビデオなど、媒体・形態を問わず収集・提供・保存活動を行っている。平成21(2009)年10月現在の収集資料数は45,000件に達している。

また、収集資料をデジタル化してインターネット上に公開する「震災デジタルアーカイブ」事業も積極的に進めており、平成21年10月現在の公開件数は約4,700件である。なお、平成21年1月より、震災文庫と、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター所蔵の図書資料の横断検索が可能となった。

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/>



収集資料点数(平成21年10月現在)	
図書資料	6,548
雑誌資料	12,385
新聞・広報紙類	14,012
パンフレット類	5,532
一枚ものの資料	5,926
写真資料	89
地図資料	132
動画資料	256
音声資料	91
コンピュータ資料	83
WWW	7
合計	45,061
注)雑誌、広報紙は「号」単位 写真等は枚数ではなくコレクション単位	



図書館配置図



図書館所在地

◆六甲台キャンパス

総合図書館・
国際文化学図書館

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

TEL (078)803-7351
FAX (078)803-7355

社会科学系図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

震災文庫

事務室 (078)803-7315
サービス・カウンター (078)803-7339
FAX (078)803-7343
サービス・カウンター (078)803-7342

自然科学系図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

事務室 (078)803-5303
サービス・カウンター (078)803-5308
FAX (078)803-5310

人文科学図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL (078)803-5585
FAX (078)803-5588

人間科学図書館

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

TEL (078)803-7951
FAX (078)803-7955

経済経営研究所図書館 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

TEL (078)803-7025
FAX (078)803-7274

◆楠キャンパス

医学分館

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1

事務室 (078)382-5305
サービス・カウンター (078)382-5310
FAX (078)382-5319

◆名谷キャンパス

保健科学図書室

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2

TEL (078)796-4505
FAX (078)796-4588

◆深江キャンパス

海事科学分館

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1

TEL (078)431-6239
FAX (078)431-6360



神戸大学附属図書館要覧

平成21年11月 発行

編集・発行： 神戸大学附属図書館
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
電 話： 078-803-7315 (企画係)